職種：教育研修　　職務：教育研修

【概要】

　エステティシャン育成のための教育体系や研修プログラムを企画・開発し、研修講師などとして第一線のスタッフの指導・育成を推進する仕事。（人事部門が行う全社的な教育研修の企画・実施の仕事は含まない。）

【仕事の内容】

エステティシャンの能力向上を目的とした教育手法を開発し、スキンケアなどのトリートメントに関する研修や、コミュニケーション、マナー、法令知識などに関する各種研修を企画・開発する仕事である。研修プログラムを作成するだけでなく、エステティシャンやカウンセラーとしての豊富な知識・経験を活かして、講師として実際に研修を実施する仕事も含まれる。全ての店舗・サロンで同じ品質のサービス提供を実現するため、多店舗展開する企業では、教育研修部門は本社・本部に置かれる場合が殆どである。

他社との差別化を実現し、より質の高いエステティック・サービスを提供するためには、店舗・サロンの第一線で働くスタッフの技能・技術の向上が欠かせない。また、エステティシャンの中には、各種・専修学校の卒業者など入職時点でエステティックに関する一定の知識・技術を有する者がいる一方で、全く未経験でエステティシャンとして入職する場合もあり、この場合には、教育研修によって速やかに即戦力化していくことが不可欠となる。

エステティック業にとって、競争力の源泉は現場のエステティシャンやカウンセラーが提供するサービス品質であり、教育研修の仕事はそれを根底から支える極めて重要な仕事であるといえる。

【求められる経験・能力】

1. 通常は、店舗・サロンで一定の現場経験を積んだのち、教育研修部門に異動することが多い。経歴者採用の場合には、十分な実務知識と専門知識が問われる。
2. エステティック業では様々な技術・技法の開発が続けられており、関連する法令や資格検定制度なども多岐にわたる。このため、教育研修の担当者には、自ら高い技術をもつことのみならず、最新の技術動向や法令動向などに精通し、絶えず新しい教育技法に対して柔軟な姿勢を持って向上し続けることが求められる。
3. 優秀なプレイヤーが優秀な指導者になるとは限らない。教育研修の担当者には、高度な知識や技術のみならず、自分の技術を効果的に後輩に伝えていくためのコミュニケーション・スキルや育成スキルが強く求められる。

【関連する資格・検定等】

* 職能団体・業界団体等による各種認定講師等

【厚生労働省編職業分類（小分類）との対応】

３８３　美容サービス職